

令和7年度 地域活性化助成事業 実績一覧表

【前期】

(単位:円)

No.	団体名	事業名	事業内容
1	一般社団法人マネーキャリアラボ	早期起業家精神育成プログラムによる未来の地域づくり人材の育成事業	実践的な企業体験を通して子ども達に成功体験を提供し、自己肯定感やチャレンジ精神を醸成し、自ら考え挑戦する力を育むことを目的とする。具体的には、小学4年生～中学3年生に対して講座やワークショップを実施した。
2	与那城自治会	『LOCAL UPGRAFFTI ART』(ローカルアップグラフィティアート)	地区内の子どもたちに郷土に対して愛着を持ち、地域を誇りに思えることの一助や、自治会による活動内容の周知を深め、共助と協力体制の強化を図ることを目的に、グラフィティアーティストを招聘して塗り絵のワークショップを行い、子どもたちのコミュニケーションのスキルアップに繋げた。
3	北中城村青年連合会	令和7年度エイサーまつり前週祭	村内各字青年会の連絡協調を図り、地域活動をととして文化向上を推進し、村の発展に寄与することを目的とする。 例年秋ごろの村祭りの前にエイサーイベントを行っているが、今回は規模を拡大し若い力により各自の一体感を高め、まつりに向けて地域全体を盛り上げた。
4	健康増進サークルケンゾー	子供の悩み解決スクール～作業療法士・理学療法士によるひも結びの動作・活動分析を活かしたワークショップ～	本団体は昨年より、八重瀬町を中心に子どもたちが苦手な運動にチャレンジできる場を提供しており、今回も子供たちの成長のサポートや健康増進を目的とし、作業療法士・理学療法士の指導のもと、子どもたちの空間認識能力や手先の器用さを高める講演会およびワークショップを実施した。
5	港川自治会	港川公民館広場・港川の浜活性化事業	カヤック体験イベント・ビーチクリーン活動等を開催し、漁村の美しい風景や透明度の高いイノーに接する機会を提供することで地域愛の醸成を測り、自治会加入促進活動、港川ハーレーの担い手育成、観光漁業の町として「八重瀬町の港川」をPRし、地域活性化に寄与することを目的とした。
6	琉球Agachi	南風原スポーツ&共生チャレンジ2025～触れて、感じて、誰もが住みやすい町を考えよう～	南風原町においてブラインドサッカーを軸に、視覚障害者スポーツや体験イベントを通じて地域住民が視覚障害への理解を深める機会を提供することで、共生社会の実現に向けた交流の場を創出することを目的とした。
7	栄町市場組合	戦後80年企画・栄町市場のあゆみ	戦後80年の節目に、先人たちが繋いできた栄町市場のあゆみを知り、これからの栄町市場の在り方を考えるきっかけとなる写真展・座談会を行った。市場の歴史や市場が大切にしてきた思いを知っていただくことを目的とした。展示した写真は冊子にまとめ、市場の記録として保存した。
8	千立公民館	令和7年度千立憲章推進事業 千立の伝統文化勉強会	地域の方々が学び、記録整理をし、その効果に住民が気付くことを目的とし、千立憲章推進事業を行った。具体的には、外部専門家を招聘し、勉強会を開催し、文化財を指定し、文化財等伝統文化に関する冊子を作り、公民館員及び郷友会の各家庭に配布した。
9	依存症リハビリサークル	飲酒運転ゼロを目指す地域研修～アルコール問題の視点から～	地域住民・支援者・企業関係者を対象に、飲酒運転について学ぶ機会や実践的な予防策や地域ぐるみの取組みを促進することで「飲酒運転ゼロ」の社会を目指し、沖縄の地域安全・健康づくりに貢献することを目的とした。
10	みゃーくTNR部	みゃーくねこサミット～宮古島における地域ネコ活動・飼い主のいない猫問題について考えよう！～	本団体は、官民協働および地域との連携を心がけており、自治会と協働しての地域特化型一斉TNRの実施などをこれまでに行ってきており、本事業では、近年の宮古島市における「飼い主のいない猫」問題の現状を振り返るとともに、島外先進地域の取組について学ぶ機会もあった。
11	東自治会	敬老秋まつり	下記の目的の通り、敬老会を実施した。 ①高齢者の生きがいと健康づくりを促進する。②地域住民の交流を深め、地域の一体感を醸成する。③地域の伝統文化や芸能を継承し、活性化を図る④世代間交流を促進し、地域の活性化を図る。
12	(一社) FUTURE Sports&Culture Academy	ワクワク！つながるこどもまつり	本団体は、①子どもたちの成長と健全な育成②地域文化・産業の継承と活性化③地域住民の交流促進とコミュニティの強化の視点から地域活性化を目的とし、「ワクワク！つながるこどもまつり」を実施した。子どもたち向けの体験ブースを設け、子どもたちによる舞台を開催した。
13	特定非営利活動法人地域サポートわかさ	全国パーラー公民館サミット・イン那覇 まちが丸ごと、公民館になる？！	全国のパーラー公民館実践者が那覇に集い、各地で展開されているパーラー公民館の活動実践や各自が開発した地域活性化プログラムについて報告・共有した。地域の課題解決や、地域づくりのヒントを得て地域活性化へ繋げることを目的とした。
14	(一社) 沖縄いのちにエールを贈る会	いのちの話を届ける	二次性徴を迎え、自我が芽生えた5年生を対象に、自己肯定感を育み、自尊心を向上させることを目的とした。「いのちの授業」を実施し、「いのち講話」や「いのち体験ワーク」を通じて子どもたちが自分自身を大切に、心身ともに健やかに成長できることを目指した。

令和7年度 地域活性化助成事業 実績一覧表

15	沖縄県立博物館友の会	琉球王国・尚王統成立600年記念事業「国の礎となった尚巴志王統の残像を探る」	2025年は尚王統が成立して600年が経過した年であることを記念して、尚巴志王統にスポットを当て、地域史や関連文化財の魅力を再発見していくことを目的とし、講演会やパネル解説会、フィールドツアーなどを実施した。
----	------------	--	--

【後期】

(単位:円)

No.	団体名	事業名	事業内容
16	桃原自治会	桃原ハーリーを”未来”に継続事業	桃原区で唯一の伝統行事「桃原ハーリー」は、漁業者の海上安全と豊漁、農業者の豊作を祈願する重要な年中行事として長年にわたり地域の絆を支えてきたが、人口減少や高齢化の影響により行事の開催が困難になりつつある。本事業を実施し、住民が協力し合うことで地域の一体感が高まり、世代間の交流や文化の継続を図った。
17	名護市豊原区	久辺三区地域による子どもの居場所づくり	名護市久辺三区の学童クラブが閉鎖し児童の放課後の安全な居場所が確保できていないことから、地元の健康な高齢者等の方々の協力を得ながら、放課後の居場所を運営し、実際に学童保育を運営されている方々をはじめ、隣接する沖縄高専やGODAC等の人材を活用しながら放課後の子供の居場所を試験的に運営する取組みを実施した。
18	津嘉山女童臼太鼓保存会	津嘉山区ウスデークの復元と継承に関する活動	大正元年まで同区で歌い踊られていたウスデークが存在を知り、後世につないでいきたいとの思いから津嘉山区ウスデークの調査を開始した。復元できたウスデークの曲の奉納演舞披露に加え、残る楽曲の復元を目指し、資料作成・記録、文化講演会、演舞披露などの活動を実施した。また、この貴重な文化を後世に継承するために、早急に資料収集と復元活動を行いさらに幅広い世代への普及を目的として活動を行っていく。
19	アジア・太平洋文化交流ネットワークin沖縄 (APCNOkinawa)	戦後の新作・創作組踊を考える	2025年中に上梓を計画している「戦後創作組踊集」は創作組踊作品を次世代へ残していくことを目的に貴重な作品を記録している。その出版にあたり、戦後作られた新作・創作組踊の価値を再確認するための記念イベント（シンポジウム・語り組踊）を開催した。
20	小橋川子ども会	「新しい地域のリーダーズ」育成事業	当該区内においては、旧来から居住している区民と新しく移り住んできた方々が入り混じり、つながりが希薄化している現状がある。つながりづくりの各種取組み（火を囲む会、字小橋川ハロウィンプロジェクト、アゴラシアター、防災キャンプ）を通じて地域住民が連携し、互いに支え合える信頼関係を構築した。また、本事業の企画・運営に高校生が携わることで新しい地域のリーダーを育成した。
21	崎本部行政区	崎本部十五夜祭	7～8年ほど前に区の有志で十五夜祭を開催していたが、御逝去やマンパワー不足により継承できない状況が続いているが、区民からは再開を期待する声があるため、新生「十五夜祭」として実施した。
22	一般社団法人スポーツツーリズム沖縄	シンポジウム「長距離・駅伝競技と市民の健康長寿は両立できるか」	陸上長距離種目の最弱県だった沖縄県から全日本大会優勝チームの一員や、県勢初の日本代表や箱根駅伝で優勝争いの鍵となる選手が輩出されるようになった現状から、長距離・駅伝競技の選手育成過程から市民の健康づくりに活用できる事例を紹介し、沖縄県民の健康長寿に寄与し広く知らしめることを目的にシンポジウムを開催した。
23	一般社団法人ほしおかプロジェクト	①熊丸みつ子先生子育て講演会 ②熊丸みつ子先生と一緒に子どもと遊ぼう！	約4年間の活動を通じて見えてきた課題として「児童虐待」を予防するには、保護者への早期の関わり的重要性、幼少期からの子育て支援が必須であることから有識者の講演会を開催し、子育てに悩む多くの保護者に安心を与え「誰かに相談すること！SOSを出していいこと！」を伝えた。